

令和4年度 福井県立大野高等学校全日制 学校関係者評価書

(問) (1) 学校評価書の成果と課題は適切ですか。 (2) 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は適切ですか。 (3) その他	
(意見をお聞きした方) 令和4年度福井県立大野高等学校「学校関係者評価委員」 ・PTA役員4人(会長1人、副会長3人) ・地域住民代表4人	
意見欄	
1 教育課程 学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等のICT機器を使用した授業や協働学習を取り入れた授業を行っており、公開授業では生徒たちが活発なグループ討議を行うなど積極的に取り組む姿勢が見られた。ただし、生徒の授業満足度の目標が80%は決して十分とは言えず、常に100%を目標にしてもらいたい。
2 生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「正しい身なりで学校生活を送るように全く努めなかった」や「学校祭や委員会の活動において充実した活動ができなかった」という回答が0%というのは、評価できる。 ・部活動指導を行ったと回答した教職員が75%というのは、高い水準と言えるのか。 →回答した時期によって回答は変わると思うが、さらに数字が高くなるように取り組みたい。 ・以前はESS部があったが、できれば復活させてほしい。 →令和5年度からEC(English Club)というサークルを発足し、英語を使った活動をする予定である。
3 進路支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導の取組に満足している」の割合が前年度と比べて上昇している。「キャリア教育」に関する取組では街づくり・観光振興に関する講師を招聘すると良いとの意見が出た。次年度に反映させたい。また、従来通り「進路選択」にあたり、より一層生徒との面談や保護者との懇談・ガイダンスの充実をはかっていきたい。「大学入学共通テスト」や「新課程入試」への対策を早期から行っていく。教員対象の外部研修への参加を促し、生徒・保護者への適切なアドバイスを行えるようにしたい。
4 保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談したいことがあったら、誰かに相談できそうか」という問いに対し肯定的な回答をしている生徒が92%いることは結構なことだが、その一方で「誰にも相談できない」と答えている2%の生徒がいるということにも心を向けて、そのような生徒が0になるような対応を考えて欲しい。→教育相談や保健相談の担当を通じて、担任や学年会と連携し、生徒の抱える様々な悩みなどの相談に乗り、生徒が円滑に学校生活を送れるようになお一層の支援をしていく。特に1年生では1学期に教育相談担当が個人面談を行い、生徒の状況把握を行うとともに、悩み事などがあつたらいつでも話に来ることができる信頼関係の構築に努めたいと考えている。
5 図書支援 保護者との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書週間では読書習慣のない生徒が読書の面白さに気がつけるように、ドラマのシナリオや研究誌、新聞記事など読み物の幅を広げて実施したい。 ・PTA活動の内容およびその情報提供についての評価が増加しているのは、大高メールの積極的配信、SNSの活用、ホームページの週1回以上の更新による成果と思われる。引き続き情報発信は積極的に行っていききたい。
全体(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・D-Timeを活用して、生徒の自主的な探究活動をさらに進めるとともに、教員の意識改革にも努めたい。 ・「わたしが未来の市長」プロジェクト等の探究学習を継続し、系統的な取り組みにしていきたい。 ・大野では地域の意識が非常に高いので、学校側も現状を受け止めて、地域の行事への参加を積極的に検討していきたい。 ・生徒一人一人を大切にしていきたいながら、卒業生が誇れるような学校づくりを目指したい。今後も大野高校が良くなるように引き続き地域の方のご意見を頂きたい。
(学校関係者評価を踏まえた今後について) ・委員会での御指摘をふまえ「学校評価書」および「学校関係者評価書」を4月中旬までにホームページにアップする。 ・各分掌においてさらに検討し、次年度のスクールプランに反映させ、具体的な取組として実現できるようにしていきたい。 ・教育活動全般において、生徒・保護者および地域からさらに信頼される学校づくりを目指し、教職員一人丸となって取り組むとともに、広報活動で本校の魅力をしっかりと伝えたい。	